

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2015年
7月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

宣教リレー ～教会付属建物の地域利用～

司祭 ミカエル 小南 晃

あなたがたが自分では労苦しなかつたものを刈り入れるために、わたしはあなたがたを遣わした。他の人々が労苦し、あなたがたはその労苦の実りにあずかっている。(ヨハネ4・38)

4月18日(土)、神戸昇天教会前任牧師のヨハネ桑原一朗司祭が天に召されました。

桑原司祭は1999年4月に赴任されて、2005年3月に定年退職なさるまでの6年間で当教会で司牧されましたが、その間に当教会の創立百周年記念行事と、その記念事業また阪神淡路大震災復興事業としての教会付属建物新築工事という大きな事業にあたられることになりました。



地域の人々への奉仕

教会の宣教は福音伝道と共に社会への奉仕も求められています。記念事業としての教会付属

建物には、そうした宣教の一端を担うことも目指すものとされました。

2000年9月15日付の神戸昇天教会事業計画には、「一世紀前にこの地に立てられた教会が、この地域に住む人々に奉仕できるものとなること、震災からの復興であると考え、現在の付属建物に替え、それにふさわしい設備を備えた建物を作りたいと願っております」とあり、また事業概要として新しい建物の性格は「地域への開放型のものとし、高齢化社会、少子化社会に奉仕出来るものとする」と明記されていました。

建築工事は2003年4月に起工され、同年10月に竣工しました。そして2004年1月25日(日)には自治会や地域の方々を招いて新築建物披露会が催され、桑原司祭がその利用案内をなさっています。

そして桑原司祭は、その翌年3月に定年退職されました。

建物の地域への開放

当教会では毎年年度目標が掲げられていますが、建物完成以降は「教会付属建物の地域での有効利用の促進」など、地域を念頭に置いた目標が必ず挙げられています。

そして2005年以降、そうした利用は次第に増えて参りました。毎週1回の「高齢者体操教室」、月1回の「ふれあい喫茶」、また月1、2回は高齢者介護等の相談窓口である「平野あんしんすこやかセンター」が利用しており、その他にも自治会やシルバークラブなどが利用しています。そして昨年から認知症の方とその家族や支援者の交流の場としての「ほっこりカフェ」が始まっています(写真)。

現在は年度目標を「地域との交流促進」と変えています。それは建物の利用に留まらず、さらに教会と地域の関係を深めることを願っているのですが、どのように進めて行くのが今後の課題です。

宣教リレー

この教会付属建物は信徒の方々の多大な献金努力とご奉仕

の賜物です。また完成に至るまでの桑原司祭ご夫妻の精神的、肉体的ご苦労も大変だったことと思います。引越越しを繰り返しながら、ご夫妻の牧師館への入居期間はほんの僅かであり、後任の私どもが新築同然の快適な牧師館に住まわせて頂くことになりました。

さらに宣教に關して申しますなら、「この地域に住む人びとへ奉仕できるものとなる」という目標のもとに牧師・信徒が丸となってこの建物を完成させ、その基礎を築いた上でバトンを渡されていることを思います。聖火ならぬ、聖霊の火のりレー、宣教リレーと言ってよいかもしれせん。さらにそれはこの建物建築のことに限らず、まさに教会創立百年来の先人の方々の労苦の実りに与かっているものでもあることでしょう。だからこそ、そうした恵みに感謝しながらその実を集めることに努め、今度は私たちが後の時代にリレーしていくこと、種を蒔く働きを果たすことが出来ればと願っている次第です。

(神戸昇天教会牧師・
神戸松蔭女子学院大学
非常勤チャプレン)



久しぶり!
山陰の地で青年交流会開催

クレメント 井熊 大輔

3月27日から29日に、島根県の松江基督教会で、神戸教区青年交流会が開催されました。皆様のお祈りとお支えで、交わりの時が持てました事を本当に感謝する次第です。本当にありがとうございます。

今回の青年交流会は、8名の参加者が与えられました。少人数でしたが、和やかな交わりが行われました。1日目は、新青年(春から大学1年生になる学年)の歓迎会を兼ねた食事会と

レクリエーションを行いました。米子で魚屋をされている信徒の方にご協力を頂き、日本海で採れた新鮮な魚で、手巻き寿司の立食パーティをし、日本海の海の幸を満喫しました。

2日目は、教会の清掃を行いました。敷地内の草取り、倉庫の整理、礼拝堂の窓拭きなどです。松江基督教会はこの数年、定住牧師が不在だった影響もあったのかもしれませんが、なかなか信徒の方だけでは手の回らなかった所まで、今回はきれいに掃除をする事が出来ました。

3日目は、復活前主日の聖餐式を、松江基督教会の信徒の方々と一緒にお捧げしました。その後の昼食では、信徒の方々と親睦を深める事が出来ました。

僕は鳥取県と島根県の教会を、瀬山会治司祭が管理牧師を務められていた事もあり、サーバー奉仕でお邪魔した事が何回かあります。正直なところ、鳥取県、島根県からなる山陰伝道区の現状は厳しいですが、今年の4月から青年交流会チャプレンの杉野司祭が、松江基督教会の牧師に着任され、地元山陰の松江の地で青年交流会が開催されたのは、夢のようでした。参加者が笑顔で活動に取り組む姿を見て、

嬉しかったです。また、今年、松江基督教会は創立130周年を迎えます。何か神様からのメッセージが与えられているような気がします。

青年交流会は、青年が積極的に主体となって活動していく会です。しかし、時にはどうすれば良いかと迷い、選択を迫られる時があります。進学や就職、将来の事で悩む事もしばしばです。そんな時、諸祈祷の中の「青年のため」というお祈りを、皆様からお祈りして頂いている事を心に留め、歩んで行きたいと思えます。今後も皆様のお祈りの中に、神戸教区青年交流会の働きを覚えて頂けたら幸いです。

(米子聖ニコラス教会信徒)

神戸教区第52回中高生大会

- マ：宝探し
- 時：8月11日(火)~14日(金)
- 場：啓明学院 前島キャンプ
- 長：藤井湊之介(神戸聖ヨハネ教会)
- 費：12,000円(傷害保険含む)
- 先：司祭 藤井尚人(神戸聖ヨハネ教会)
*所定用紙に記入し、各教会から一括申し込みください。
- 締切：7月14日(火) ※締切厳守

広島平和礼拝2015のご案内

『ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。』

— キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。(コロサイ3:15) —

場所：広島復活教会ほか

おもなプログラム

『被爆証言』 エステル大屋美代子

広島復活教会信徒。5歳の時、爆心地から3キロの東雲町(現南区)で被爆。体験された戦争・被爆の悲惨さと、戦争のない世界を求めてお話し下さいます。

『平和の主張』 山下未来

大屋美代子さんのお孫さん。広島女学院高等学校1年生。中国新聞ジュニアライターとして被爆証言の記事や平和活動の取材に取り組んでおられます。2014年8月福島で行われた「高校生サミット」に出席されました。

8月5日(水)

- 9:30 碑巡り
- 12:00 昼食
- 13:00 被爆証言と平和の主張
- 14:30 ブレーク、分かち合い
- 16:15 軽食・移動
- 17:30 祈りのつどい(平和公園)
- 17:50 平和行進など

8月6日(水)

- 6:15 原爆死没者慰霊行事
- 8:00 広島原爆逝去者記念聖餐式
- 司式：中村 豊 主教
- 説教：武藤謙一 主教(九州)

*お問い合わせは、広島平和礼拝実行委員会事務局 広島復活教会(082-227-1553)実行委員長 小林司祭まで

福山諸聖徒教会の歴史については、伝道の開始は明治13年(1880年)CMS宣教師によって始められたと伝えられています。

明治17年(1884年)にはジョージ・ヘンリー・ポール師が働かれ、翌年、ヘンリー・エビンソン師が福山で伝道し、9月20日に10人が受洗されたことにより、福山の教会が始まりました。



初代の教会堂は明治24年(1891年)に旧米屋町(現在宝町)に建てられ、福山基督教会としました。ここには、宣教師がよく出入りし、地元の青年たちに西洋文化と触れ合う機会を与えたようです。

二代目の教会堂は同町内で移転し、現在の教会堂は昭和32年(1957年)に新築して、名称を福山諸聖徒教会と改めました。

礼拝堂の正面には大きな十字架がかかっています。この十字架

は現在地へ移転の際、当時、新進気鋭の彫刻家であった辻晋堂氏に依頼して作られたもので、頭に冠を、身に衣をまとった十字架像は「キリストの栄光」を表しています。

当初、作者は金箔等で装飾しようと考えていたようですが、教会は白木の十字架を要望し、譲りませんでした。

福山諸聖徒教会では、2013年から様々な行事(男子会、教会資料整理作業)を計画・実施し、また耳が聞こえ難くなった方のためにヘッドホンの設置をしました。2014年には教

会プログラムの開設、教会資料整理、チャリティーコンサートの開催などをしました。

特に、チャリティーコンサートは福山諸聖徒教会の宣教の大きなイベントで、9月21日(日)に開催され、「あしなが

東日本大震災遺児」のために募金をしました。コンサートでは当教会員の眞田真理絵さんをはじめ、多くの出演者が参加、協力して下さい、約140名の方々が集まって、「感動した」という声をたくさん頂



き、盛況の下に終了しました。また同年、「開かれた教会となるため」という目的で、教会宣教協議会を開催し、様々な意見や具体的な案が出されました。そして、毎月一回、第2日曜日の礼拝後に聖書の学び(聖書の分かち合い)を行うことに決め、現在も引き続き、開催しています。この聖書の学びでは、信徒間の交流や親睦を深めると共に、お一人お一人の実体験や信仰観、聖書観、宣教観などをお聞きすることができ、学ぶことや考えさせられることが多く、とても有意義な会となっております。

今後、教会宣教協議会を開催し、引き続き、宣教の課題や問題などを話し合う予定です。(福山諸聖徒教会管理牧師 司祭マルコ平野一郎)

となりの日曜学校②

『徳山聖マリア教会』

テレサ 寺田 弘枝

私たちの日曜学校は、生徒数32名、教師6名で運営しています。毎月第二と第四日曜日、朝10時から礼拝の時を持ち、聖書の学びを深め、季節や行事にちなんだ製作、また隣接する徳山めぐみ幼稚園の園庭で外遊びなどを行っています(現在、新園舎工事のため屋上を使用)。その後、聖餐式に参加し祝福にあらずかり、派遣の聖歌の前に製作などを発表します。日曜日はスポーツ少年団やクラブなどがあり、10名足らずで活動することもあり、多いのですが、明るく元気に過ごしております。

先日、日曜学校がスタートした当初から教師としてご奉仕された大橋哲子先生の離任式が行われました。およそ60年もの間(途中お休みの時もあったそうですが)、日曜学校に携わってこられたと聞き、驚きと共に先生のお働きで沢山の子どもたちが、神様と出会うことができました。のだと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

先生は離任にあたってのご挨拶の中で、子どもたちに「神様はいつも共にいてくださる」とを伝えたいと願い、奉仕を続けてこられたそうです。そして、教会生活で学んだことが、ご自身の子育ての重要なヒントになり、また家族の支えにもなったことを話され、日曜学校の保護者にも心強いメッセージを送られました。

私たちも先生のこの思いをつないでいき、子どもたちの励ましとなり力となることを祈り、神様と子どもたちと共にあゆんでゆきたいと思えます。

(日曜学校主任教師)



鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

5月13日(水)

サ ラ 白川 トシエ
松江基督教教会

祝 聖 婚

5月1日(金)

アンナ 近藤 衣里子
竹崎 裕 太
高知聖パウロ教会

5月3日(日)
クリステイーナ

竹村 紗 耶
小林 伯 仁
神戸聖ミカエル教会

教 籍 移 動

5月1日(金)

フランシス 渡 邊 守
クララ 渡 邊 寛 子
姫路顕栄教会より

神戸聖ミカエル教会へ

神 戸 伝 道 区

◎神戸聖ヨハネ教会

5月20日(水)午後7時より、当日の朝、ネパールより帰国された吉村誠司さんをお迎えして、「緊急報告会」被災地に赴いて」を開催した。フェイスブック上での告知では約1200名の

のリーチがあり、ネパール大震災支援についての、多くの人がこの関心の高さを伺わせた。

徳 島 伝 道 区

◎徳島聖テメテ教会

5月24日(日)、主日礼拝に続き、4月30日(木)に米国・シアトル市で逝去されたロイス中山圭子姉(旧姓・古本)の逝去者記念式・偲ぶ会が、親族・関係者有志で行われた。29名参加。

瀬 戸 内 伝 道 区

◎岡山聖オーガスチン教会

5月9日(土)、昨年(2014)に続き、瀬戸内伝道区では岡山聖オーガスチン教会建築支援のバザーを開催した。岡山の委員会が実行委員となり、伝道区内の各教会からの協力者・奉仕者を各部署に配置するという方法で実施した。

岡山(マリア山アサ子)の建築には、教区内の各教会から多くの御献金を頂いたが、この建築を進めて行く中で、礼拝堂の改修にも取り組まなければならないことが判明。礼拝堂がやや傾き、雨水の影響で柱が腐食していることなどが指摘され、急ぎ対策を講じる必要がある。会館・牧師館の建築に加え、礼拝堂の改修の必要が生じ

8月の教区関係教役者逝去記念聖餐式

日時 2015年8月13日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 角瀬 克己

8月の記念逝去教役者

3日	伝道師	益田 喜代吉
3日	司 祭	シドニー ス ワ ン
7日	宣教師	エミー ウ ー レ イ
9日	宣教師	E トンプソン
14日	司 祭	ピーター ジャクソン
17日	司 祭	パウロ 古本 正夫
17日	伝道師	野田 環 水
18日	司 祭	関 翔 翊
20日	司 祭	ヨハネ 末吉 時信
25日	宣教師	エリザ リットソン
27日	司 祭	ダミアン 村瀬 敬輔

召 命 黙 想 会

「われわれは主を知ろう。主を知ることの追求めよう」(ホセア6:3)
テ ー マ：宝探し
日 時：8月18日(火)～20日(木)
講 師：司祭 古賀久幸 (小浜聖ルカ教会牧師)
会 場：聖ヨハネ病院修道会 (神戸市須磨区)
申 込 先：司祭 瀬山公一 (徳島インマヌエル教会)
*所定用紙に記入し、各教会牧師を通してお申し込みください。
申込締切：7月27日(月)

たため、資金集めを目的に、伝道区を挙げてバザーを開催。当日は、神戸、姫路からも応援のみなさんが駆けつけて下さったことよって、終了することが出来た。また昨年以上に近隣からの来会者が多かったことも収穫だった。岡山は神戸教区内の真ん中に位置する教会。教区内の皆様を活用して頂けるよう整えたいと願っている。

広 島 伝 道 区

◎徳山聖マリア教会

4月26日、私は途上国支援として続けているネパール貧困層の子どもと女性を支援するため、ネパール南部のゴダワリにある修道院に物資と現金を届けるとの予定でした。しかし25日の大地震で旅が中止となりました。

この支援活動は私が事務局長を務めるNHCN(慈善団体)の活動で、徳山聖マリア教会は2008年からバザー等を通して協力しています。その後、ネパールで活動されていたシスター川岡(カトリック福音の光修女会)と出会い、2012年からはゴダワリの貧困層給食支援に協力してまいります。また、教区婦人会の皆様には感謝箱献金でこの活動にお

支えを頂き、大きな励みになっております。27日、ネパールに入国された川岡シスターは関係各所に訪問さ



崩れ落ちた民家

れ、兄弟姉妹の安否を確認されました。ゴダワリは被災し、シスターたちが被災者の支援にあたっておられます。私は7月に現地を訪れ、改めてお伝えできればと願っています。どうか皆様の祈りとご支援をお願いいたします。
(マリア山本アサ子)